

冬こそ 介護予防

冬本番となりました。こたつに入つてテレビを見るのが日課になつていませんか？

歳をとるにつれ、誰でも身体は衰えてきますが、60歳を過ぎると筋力やバランス能力、歩行能力は急速に下がり、放つておくとそのまま下がり続けます。特に冬場は寒さのため、関節に痛みが出やすかったり、身体がこわばつて動かしにくくなったり等、不活発になりやすい季節で、身ともに衰えやすい傾向にあります。こんな時期こそ介護予防が大切です。座ったままできる体操をご紹介しますので、ぜひお試しください。

在宅介護支援センターだより

在宅介護支援センターは、地域の高齢者や介護する家族が安心して暮らせる目的を目的に、保健師や介護福祉士等が常時相談に応じています。

■弓削 77-3698
 ■生名 74-0921
 ■岩城 74-0755

④ 足踏み

します



両手で足先をもみ、次にふくらはぎをもみます

③ 足もみ



両手をグーパー、次に親指から順に指をります

② グーパー



両手でそれぞれの手をゆっくりともみます

① 手先もみ



まずは冷えた身体を温めましょう

どちらも簡単にできる体操ばかりですが、継続して行なうことが大切です。また、冬は意外と水分が不足しがちです。脳卒中予防のためにも運動の前後など、こまめに水分補給を心がけましょう。

③ 背筋のばし

背筋をのばし、両手をあげて体をそらせます



② しゃがみ立ち



立つたり座つたりを繰り返します

① 手足突き



手足を同時に前に突きます

それでは体操を始めましょう